



風かおる
人が輝き
躍動するまち

とままえ

12

No.640



まちひと百景

かずのこウマイ!

学社融合事業で行われた水産加工場見学に苫前小学校3年生の児童9人が参加、加工のピークを迎えるかずのこの加工の様子を見学した。

事前の学習でマイナス30度の冷凍庫体験や従業員のゴミやホコリをとるためのエアシャワー体験があることを知ってか児童らはウキウキモード。

冷凍庫やエアシャワーも大喜びだったが、予想してなかったかずのこの試食では、口に入れた途端、「ウマイ!」「おいしい!」の声、食べられない子もいたがよい体験だったのではと感じた。

- 特集「除雪」…2～3
- 苫前町表彰式…4
- 留萌管内中部3町村交通安全女性大会ほか…5
- 年末年始の各施設・期間の業務ほか…6
- 健康ばんざい…7
- 学びの広場…8
- 介護保険ガイド…9
- 国民年金ほか…10
- 住まいる情報…11
- 平成25年度町の決算について…12・13
- 町民舞台発表会ギャラリー…14

まちの人回

人口／3,396人 (男／1,610人：女／1,786人)
世帯数／1,624世帯 (11月30日現在)

URL：<http://www.town.tomamae.lg.jp>

特集 除雪



町では、1年の約半分にあたる冬をできるだけ快適に生活できるように生活路線や公共施設の除雪などを行っています。

除雪作業には、町民の皆さんの協力が欠かせないことから、除雪に関する取り組みを紹介します。

除雪に出動する時間は降雪量や除雪を行う距離数などにより前後しますが、午前7時をメドに除雪を終了するよう努めているため、早いときには深夜から除雪を開始することがあります。住民の皆様には騒音や振動などによりご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。また、緊急時以外は午後7時以降の除雪を行いませんので、皆さんのご理解をお願いします。

町では原則として、雪が降り積もり概ね10センチメートル以上になったときに除雪を行うようにしています。

除雪を行う基準

平成25年度の除雪に要した経費は約7千万円となっています。

町内の除雪に要する路線は生活路線や公共施設、産業道路を含め168路線で全長約92キロメートルに及びます。

町の除雪状況

除雪作業にご協力下さい

一人ひとりの協力で
住みよい地域へ

町民の皆さんに除雪についての5つのお願い

① 路上駐車や公共施設駐車場への長期駐車はやめましょう！

路上への駐車や公共施設駐車場への長期駐車は、除雪作業や緊急車両の走行の妨げになりますので、やめましょう。

③ 除雪や排雪時に支障となる場所にはポールなどの目印を！

車庫に車の乗り入れる段差解消用の台など、除雪や排雪時に破損の恐れがある場所にはポールなどの目印の設置や降雪前の撤去などの協力をお願いします。

④ 道路に面した屋根の雪は事前に撤去を！

歩道や道路に向かって屋根雪が落ちる構造のご家庭は、状況を見ながら事前に雪下ろしをするなど、事故が起きないように対策をお願いします。

② 町が指定している場所以外の雪は除雪しません！

雪を堆積する場所が少ない地域のために町が指定した場所以外の空き地などは除雪しませんので、ご理解をお願いします。



皆様のご協力をお願いします

⑤ 除雪車が寄せた雪の処理にご協力を

玄関や車庫前へ除雪車により寄せられた雪は、各家庭での処理をお願いします。また、それらの雪は道路に出さないようご協力をお願いします。

今冬の地区別除雪担当業者

- 除雪に関するお問い合わせは
 - ・ 苫前道路維持管理事業協同組合 ☎65-3141
 - ・ 苫前町役場建設課管理係 ☎65-2315

- ◇ 昭和・旭地区 山本建設工業(株) ☎65-3141
- ◇ 旭・四線沢地区 大川重機 ☎65-3035

- ◇ 苫前地区 千葉建設(有) ☎64-2819
- ◇ 港・三豊地区 千葉建設(有) ☎64-2819
- ◇ 北香川・上平・力昼地区 (有)北進産業 ☎64-2152
- ◇ 幹線道路(旧直営路線) 山本建設工業(株) ☎65-3141 橋場建設工業(株) ☎65-3900
- ◇ 南長島・香川地区 苫前建設工業(株) ☎65-3309

- ◇ 北長島・九重地区 橋場建設工業(株) ☎65-3900
- ◇ 古丹別地区 渡部工業(株) ☎65-3055
- ◇ 小川・岩見・東川地区 林商会 ☎65-3304
- ◇ 小川地区(防災ダム道路) 林商会 ☎65-3304
- ◇ 三溪地区(苫前ダム道路) ハラダ工業(株)苫前支店 ☎65-3702

他にもあるある冬の注意点！

■家の中で安全に過ごすために

- ・ 気象情報に注意し、暴風雪が予想されるときは外出を避けましょう。
- ・ 日頃から停電に備え、懐中電灯、携帯ラジオ、防寒具、ポータブルストーブ、灯油、非常食、飲料水などを準備しておきましょう。
- ・ F F式暖房機を使用している家庭は、給排気口付近が雪でふさがれないよう注意しましょう。



■車で外出するときのために

- ・ 車の立ち往生に備え、防寒着、スコップ、けん引ロープなどを準備するとともに、燃料の残量にも注意を。携帯電話も忘れずに。
- ・ 走行中の地吹雪や大雪などで危険を感じたら、無理に走行せず、天候の回復を待ちましょう。
- ・ 立ち往生したときは、ロードサービスや近くの人家に救助を。雪に埋まったときはエンジンを切ったり、こまめにマフラー周辺の除雪を。



高齢者等への除雪サービス

除排雪が大変な高齢者などのために

町社会福祉協議会では、高齢者等が行う冬期間の除雪を少しでも負担を減らしてもらおうべく、「除雪サービス事業」と「排雪サービス事業」の2つの除雪事業を実施しています。

「除雪サービス事業」は玄関前から道路までの間口・通路を除雪する事業で、「排雪サービス」は屋根、ベランダ、窓の下の雪などを排雪する事業となっております。記載のとおりです。

それらの事業をご利用される場合には自己負担がかかりますが、労力が必要となる冬期間には高齢者や

その不自由な人にとって利用しやすい事業となっています。

申し込みは、役場1階の社会福祉協議会窓口もしくは古丹別支所で行っており、申請書に必要事項を記入していただければ、課税や介護認定の状況を調査した後に決定通知書をご本人に郵送します。

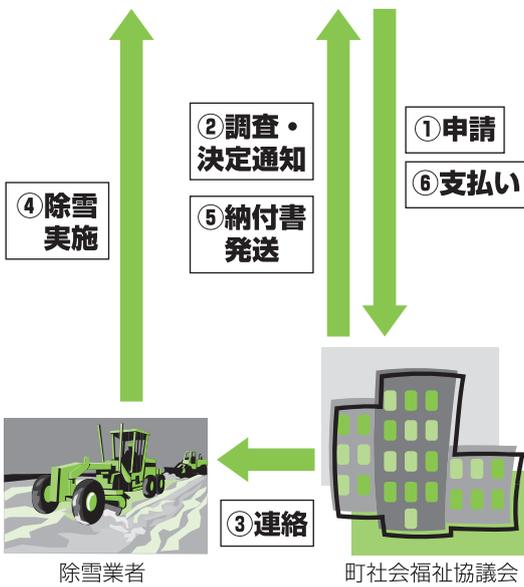
どちらの事業も申し込みは随時受付していますが、申請から決定までに時間を要しますので、利用を希望される方は早めに申し込み下さいませ。

なお、この除雪サービス事業に関する不明な点は、町社会福祉協議会（☎64-23387）までお問い合わせ下さい。

除雪サービス申し込みの流れ



70歳以上の高齢者
障害者手帳1・2級の方



排雪サービス事業の内容

【対象者】

町内に居住するおおむね70歳以上の単身世帯、または重度障がい者（障害者手帳の1級または2級に該当される方）の単身世帯、もしくはこれらの方のみからなる世帯

【実施期間・除雪場所】

平成26年12月1日から平成27年3月31日まで屋根の雪（落雪による危険が生じるもの）、ベランダ・窓の下の雪（窓が割れそうな状況や非常時の出入りに支障がある場合）

※あくまで生活する上で支障がある部分を取り除くための排雪となるため、車庫や物置、畑などの排雪はできないので、ご了承下さい。

【実施日】

申し込み受付後に委託事業者を決定してから、利用者と日程調整をさせていただき実施します。

【利用者負担】（1回当たりの金額）

所得階層区分	介護認定状況	
	要支援・要介護	自立・非該当
住民税非課税世帯	2,500円	5,000円
住民税課税世帯	10,000円	20,000円

※除雪作業が終了後、納付書を送付させていただきます。支払いは金融機関の窓口でのお支払いをお願いします。

除雪サービス事業の内容

【実施期間・除雪場所】

平成26年12月1日から平成27年3月31日まで玄関前から道路までの間口・通路を降雪の状況により実施

【実施地区】

- ①「苫前市街地、港・三豊地区・古丹別市街地」
- ②「上記以外の地区」

【利用者負担】（1回当たりの金額）

- ①の地区で除雪機械を使用する場合

所得階層区分	介護認定状況	
	要支援・要介護	自立・非該当
住民税非課税世帯	6,250円	12,500円
住民税課税世帯	25,000円	50,000円

- ②上記以外の地区

所得階層区分	介護認定状況	
	要支援・要介護	自立・非該当
住民税非課税世帯(手作業)	1時間毎200円	1時間毎400円
除雪機械使用の場合	6,250円	12,500円
住民税課税世帯(手作業)	1時間毎600円	1時間毎800円
除雪機械使用の場合	25,000円	50,000円

※手作業における各世帯の負担上限は7時間までとしています。

本町の発展に功績のあった方々を表彰

～平成26年度 苦前町表彰式～

平成26年度苦前町表彰式が、11月3日の「文化の日」にあわせてとままえ温泉ふわつとで挙行された。

本町の発展の礎となられ、各分野でご尽力された受賞者の方々に、心からの賞賛と感謝の言葉を町民の皆様とともに捧げ、祝福申し上げます。

この表彰は、政治、経済、教育、文化、スポーツ、福祉などの各分野で功績のあった方々をはじめ、

永年勤続者で業務に精励された方、多額の寄附をされた個人や団体などを表彰するものとして、毎年11月3日の文化の日にあわせて挙行されている。

今年度の表彰は、産業・教育文化スポーツ・社会保健における功労表彰に4名、自治・社会福祉・防災関係における勤続表彰に7名、町の公益のため、多額の金品の寄附をされた1団体1個人に善行表彰、そして町政振興のために寄附をされた1団体1名に感謝状を授与した。

また、町内に80年以上在住し、家業等を通じ町の発展に貢献された35名にも感謝状と記念品が授与された。

表彰式では、森町長より「本町発展の陰で各分野において献身的なご努力とご協力を続けられている方々また、町政振興のため善意を寄せられている方々が数多くいることは、郷土愛の現れとして町の誇りでもある。今後とも町民の幸福と町政の更

なる発展のため一層の努力を注がなければならぬ」と決意を述べた。

星野恭司町議会議長は「表彰を受けになった皆様は、地域社会の発展、福祉の向上のために献身的な活動並びに指導的役割を果たされてきた姿は、本町の誇りであり、先覚者の努力を決して無にすることはできない。少子化、高齢化など多くの問題が残されているが、将来の構想を定め前進する必要がある。そのため町・議会・住民がともに手を取り一体となったまちづくりに向け取り組んでいきたい」と祝辞を述べた。

受賞者を代表し教育文化スポーツ功労者表彰を受賞した伊藤信行さんは「今日、表彰を受けたことは大変光栄に思う。これまで務めてきたのは、皆様や地域そして家族の支えがあつてのこと。これからも苦前町のために微力であるが尽くしていきたい」と感謝の言葉が述べられた。

（敬称略）

◆功労表彰

〔産業功労者〕

花井 幸重（九重）

平成14年7月から連続4期12年に亘り、苦前町農業委員として尽力、本町農業の振興発展と農用地の適正利用に貢献した。

〔教育文化スポーツ功労者〕

伊藤 信行（岩見）

平成13年10月から連続3期12年に至る永きに亘り、苦前町教育委員として尽力、本町教育の振興発展と教育行政運営に貢献した。

渡部 一男（古丹別）

苦前スキー連盟発足時から28年の永きに亘り副会長及び会長を歴任、平成7年から平成23年までの16年の永きに亘り町体育協会副会長及び会長を歴任し、本町スポーツの振興発展に貢献した。

〔社会保健功労者〕

菊池 典子（古丹別）

平成6年1月から現在までの20年余の永きに亘り、民生（児童）委員として尽力し、地域社会福祉の増進及び生活の向上に貢献した。

◆勤続表彰

〔自治関係〕

清水 辰雄（香川）、村本 幸夫（昭和）

駐在員として5年以上勤続、本町の自治振興に尽くした。

〔社会福祉関係〕

芳賀 良子（昭和）

社会厚生委員として10年以上勤続、本町の地域社会及び住民福祉の増進に尽くした。

〔防災関係〕

田中 敏郎（苦前）

水難救助員として40年以上勤続し、防災業務に尽くした。

初山 忠雄（力昼）、佐々木雅洋（力昼）

川村 信介（苦前）

水難救助員として30年以上勤続し、防災業務に尽くした。

◆善行表彰

株式会社オーク（札幌市）、久保田徳満（苦前）

町の公益のため、多額の金品を寄付した。

◆感謝状

〔寄附〕

有限会社猪股石油店（苦前）、齊藤 浩正（留萌市）

町に寄附をし、町政の振興に寄与した。

〔在住80年以上〕

星野 サダ（苦前）、花井 恵美子（九重）

蟻戸 榮（九重）、服部 秀行（古丹別）

花井 忠昭（岩見）、加藤 勇三（古丹別）

能登 大助（苦前）、伊藤 智（古丹別）

赤坂 恒（苦前）、新庄 暢浩（古丹別）

寺林 キクエ（旭）、宇佐 美誠吉（苦前）

折館 リツ子（旭）、大矢 根美智子（香川）

関口 久夫（古丹別）、川森 俊夫（古丹別）

小山 千代子（香川）、大島 健也（古丹別）

白府 八重子（古丹別）、伊藤 喜佐子（古丹別）

丹羽 リツ子（岩見）、白府 幸子（旭）

水谷 敏勝（東川）、畑中 敏子（苦前）

藤田 繁（苦前）、西田 清一（苦前）

久保田 徳満（苦前）、堀 洋子（古丹別）

丹羽 シヅ子（古丹別）、合田 トシ子（古丹別）

濱本 恭子（苦前）、成川 和郎（旭）

福田 亮次（苦前）、佐藤 保（苦前）

佐々木 弘秋（力昼）

苦前町内に80年以上在住し、家業等を通じ町の発展に貢献した。

管内中部3町村の女性らが安全運転を誓う ～留萌中部3町村交通安全女性大会～

雪のシーズン前に留萌管内中部3町村の女性らを対象に安全運転の啓蒙活動として開催されている中部3町村交通安全女性大会が10月21日(火)に町公民館で約150人の参加で開催された。

当実行委員会の渡部豊子実行委員長は「交通事故の犠牲者を無くすためにも交通ルールを守るこの機会となるよう祈念している」と挨拶した。この後「交通事故抑止のために」として羽幌警察署の山田憲昭地域交通課長の講話が行われ、家庭や職場での交通事故の防止の呼びかけ、自分の位置がわかる夜光反射材などの着用などを確認した。大会決議として地元苦前町の檜谷早耶香さんが「スピードダウンや飲酒運転の根絶、シートベルトの着用」など5点の実践を呼びかけた。



水産加工場を見学 ～苫前小学校3年生の学社融合事業「水産加工場見学」～



10月27日(月)に苫前小学校(高谷典義校長)3年生9人による地域の産業を学習することを目的とした学社融合事業「水産加工場見学」が実施された。

町内で数の子などの加工品を製造している(株)丸や岡田商店で行われた同事業では岡田裕幹代表取締役が加工の仕方などの説明の他、数の子を仕分けする機器の見学やマイナス30度の冷凍庫体験、加工する前に服のホコリなどを落とすエアリーシャワーなどを体験した。

体験後には、数の子の試食に子どもたちも喜びながら数の子をほおぼるとともに、質疑応答では「1日どのくらい製造するか」「仕事でうれしいことは」などの質問に岡田さんも丁寧に受け答えしていた。

アジサイとハクウンボクを植樹 ～平成26年度苫前町植樹祭～

11月5日(水)にとままえ温泉ふわつと前の広場で平成26年度苫前町植樹祭が開催され、苫前・古丹別保育所の年長組の園児や来賓、森林関係者など併せて約50人の参加で開催された。

主催者の森町長は「今回植える花や木が根付いて育つよう祈りながら植えて下さい」と挨拶した後、アジサイとハクウンボク60本を植樹した。

園児達は自分の背丈ほどもあるスコップを手に、他の参加者の協力を得ながら植樹用の穴を掘り、土と堆肥と混ぜる作業を行った後、それぞれの苗木を植え、「大きく育って花を咲かせてね」と語りかけながら土をかけていた。



地域社会貢献事業 ～まちの施設を整備していただきました～



力屋町内会へ交通安全啓発資材の寄贈

上羽幌(停)線局改工事(防雪柵)を実施している山本建設工業株式会社(山本啓一代表取締役)が11月7日(金)に力屋町内会への交通安全啓発資材の寄贈を地域社会貢献事業として実施した。

道道九重力昼線は古丹別市街へ早く行くことができる道路として多くの方に利用されていますが、安全のため力屋市街の狭い道路をいかに減速してもらうか頭を悩ませていました。今回の寄贈のお陰で特に危険な箇所これらの資材を配置することで、スピードダウンなどの注意喚起を促すことができます。ありがとうございました。

苫前漁港内の砂・ごみ除去作業

苫前漁港衛生管理施設建設一連工事を実施している藤建設株式会社(藤田幸洋代表取締役社長)が11月8日(土)に苫前漁港内に集まった砂やゴミの除去を地域社会貢献事業として実施した。

11月2・3日にかけての暴風波浪により砂浜から大量の砂やゴミが飛散し漁港内道路に堆積、漁の作業に向かう際の大きな妨げとなり、その対応に苦慮していました。同企業の迅速な対応により堆積していた砂やゴミを除去していただいたお陰ですっきりきれいになり、作業等も支障なくできそうです。ありがとうございました。

